

neo マチアルキ vol.2

— ミナミの南へ —



コースNo.3

2026年3月22日(日)

13:30~16:00 (予定)

ミナミの南を歩く

コースNo.4

2026年3月28日(土)

13:30~16:30 (予定)

もっと南の住吉界隈を歩く

参加無料

事前
申込み制

主催 大阪大学ミュージアム・リンクス (大阪大学総合学術博物館、
大阪大学適塾記念センター、大阪大学アーカイブズ)

現在と過去を往復しながら、都市空間をフィールドワークする —— **neo マチアルキ**は、マチの今を観察し、マチの昔にさかのぼって、マチの変化とこれからを考える。そんな体験を共有します。

neo マチアルキ vol.2 -ミナミの南へ-では、大阪・ミナミのさらに南のエリアと、もっと南の住吉周辺を訪ねます。自由な感覚で大阪のあちらこちらを歩いてみましょう！

今年は、街歩きに先立って<リベラルアーツ・カフェ>を開催し、より深く街歩きについて考えます。あわせてご参加ください！

コースNo.3 ミナミの南を歩く

(集合場所：Osaka Metro 堺筋線・千日前線「日本橋駅」東改札口前)

昨年のコースNo.1では、市街中心部の島之内から、道頓堀、千日前へと歩きました。今年は、千日前からさらに先(南)へ歩を進めようと思います。そこは、かつての市街地の外、農村部にあたる地域でした。都市の周縁部は、どのように近代化し、都会に飲み込まれていったのか？ 現地を歩きながら考えてみましょう！

*歩く距離 3.5km程度

(解散は Osaka Metro 御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」、JR 大阪環状線「新今宮駅」付近の予定)

コースNo.4 もっと南の住吉界限を歩く

(集合場所：南海高野線「沢ノ町駅」堺東・高野山方面行き〔東側〕改札口前)

「住吉」といえば住吉大社をイメージしますが、それとは違う住吉もあるのでは？ という疑問から設定したこのコース。摂津国の南の端あたり、そこには古い街道や農村があり、のどかな風景が広がっていましたが、今はどうなっているのか？ ふだん行かない住吉を歩いてみましょう！ *歩く距離 4km程度

(解散は JR 阪和線「長居駅」、Osaka Metro 御堂筋線「長居駅」付近の予定)

定員 各回 15名 (申込制・先着順) / 参加費 無料 *雨天実施

企画・案内 船越幹央 (大阪大学総合学術博物館副館長・大阪大学ミュージアム・リンクス教授)

【関連事業】リベラルアーツ・カフェ ～気軽に学問を～

街歩きのススメ -歴史的視点から地域を読み解く-

博物館のテラスで、お茶を飲みながら<街歩き>についてフリートークを。土曜日の朝、自由な雰囲気でお考えください。<neoマチアルキ>のプレ講座としても、別々にでもご参加いただけます。

日時：2026年 3月14日 (土) 10:30~11:30

**会場：大阪大学総合学術博物館 (待兼山修学館)
ミュージアム・カフェ<坂> テラス**

※屋根のある屋外(テラス席)での開催となります

定員：15名 (申込制・先着順) / 参加費：無料

【申込み方法】

いずれの催しも、大阪大学「知の広場」
にユーザー登録後、お申込みください
2026年2月27日(金)から受付開始



カフェの営業は11:30から
となります

問合せ先：大阪大学総合学術博物館 大阪府豊中市待兼山町 1-20

電話 06-6850-6284 10:30~16:30 日曜・祝日休館

URL: <https://www.museum.osaka-u.ac.jp>